

コンポージアム2016 関連公演

一柳慧

ミュージック・ホリスティック

Toshi Ichiyonagi -Music Holistic-



フレンズ ~ヴァイオリンのための (1990)

Friends for violin

ヴァイオリン: 中澤紗央里

レゾナント・スペース

~クラリネットとピアノのための (2007)

Resonant Space for clarinet and piano

クラリネット: 吉川裕之 / ピアノ: 佐々木絵理

シーンズⅡ

~ヴァイオリンとピアノのための (1979)

Scenes II for violin and piano

ヴァイオリン: 中澤紗央里 / ピアノ: 佐々木絵理

弦楽四重奏曲第3番

「インナー・ランドスケープ」

(1994)

String Quartet No.3 "Inner Landscape"

第一ヴァイオリン: 多井智紀

第二ヴァイオリン: 石渡大介

ヴィオラ: 大石将紀

チェロ: 多久瀧一朗

ピアノ協奏曲第4番

「JAZZ」~2台ピアノ版 (2016) 初演

Piano Concerto No.4 "JAZZ" ~Version for 2 pianos

ピアノ: 中川俊郎・中川賢一

5月20日(金)

19:00開演 [開場 18:30]

東京オペラシティ
リサイタルホール

● 入場料 4,000円(自由席・税込)

● 発売日 2月26日(金)

● 前売り

チケットぴあ 0570-02-9999

<http://t.pia.jp> (Pコード 288-517)

ローソンチケット 0570-000-407

<http://l-tike.com>

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

● お問い合わせ・電話予約

東京コンサーツ

03-3226-9755 (4月18日より03-3200-9755)

<http://tokyo-concerts.co.jp>

(HPにて予約、セブン・イレブンにて支払い、受取りができます)

主催 東京コンサーツ

〒160-0005

東京都新宿区愛住町23ベルックス新宿ビルII 6F

(4月18日より 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18)

共催 公益財団法人東京オペラシティ文化財団

一柳 慧

ミュージック・ホリスティック

Toshi Ichiyonagi ~ Music Holistic

神戸生まれ。1954年～57年までニューヨークのジュリアード音楽院に学び、ジョン・ケーージと前衛的音楽活動を展開、1961年に帰国。偶然性の導入や図形楽譜を用いた作品の発表のほか、日欧米の新しい音楽を紹介しさまざまな分野に強い刺激を与える。1966年-67年、ロックフェラー財団の招聘により再度渡米、アメリカ各地で作品を発表、ヨーロッパにおいてもドイツ学術交流会 (DAAD) の招聘や、ベルリン芸術週間、ウィーン・モデルンなどの音楽祭からの作品委嘱など、活発な活動を行っている。80年代から90年代にかけて、邦楽器のための作品を毎年のように発表し、「東京インターナショナル・ミュージック・アンサンブル」(TIME)や、「アンサンブル・オリジン」を組織し、日本の伝統音楽の発信にも力を注いでいる。作品はオペラ、交響曲をはじめとする管弦楽作品、室内楽、雅楽や声明を中心とした伝統音楽など多岐にわたっており、音楽の空間性を追求した独自の作風による作品を発表し続けている。これまでに尾高賞を4回、フランス文化勲章、毎日芸術賞、京都音楽賞大賞、サントリー音楽賞、紫綬褒章、旭日小綬章、文化功労者など受賞多数。現在、神奈川芸術文化財団芸術総監督。



中澤沙央里 [ヴァイオリン]

桐朋学園大学音楽学部卒業。大学在学中より多くの現代作品の初演に携わる。近年は海外にも活動の場を広げ、リサイタルや、舞踏や朗読、映像など他ジャンルとのコラボレーションを行っている。これまで、サイトウキネンフェスティバル松本、サントリー芸術財団サマーフェスティバル等に出演。また、セギカレッジ(マレーシア)、慶熙音楽大学(韓国)にてレクチャー、HKNMEモダン・アカデミー(香港)で講師を務める。2013年度トニー・キョーワンダーサイト・アーティスト・イン・レジデンス。日本・フィンランド新音楽協会会員。



吉川裕之 [クラリネット]

高校卒業後渡仏。フランス国立リュエイエ＝マルメゾン音楽院クラリネット科を卒業後、フランス国立オーベルヴィリエ・ラクールヌーヴ音楽院バスクラリネット科、そして室内楽科では審査員特別賞を得て卒業。2002年に欧日音楽講座にて奨励賞を受賞。2007年UFAM国際音楽コンクールにて2位受賞。これまでにクラリネットを松本健司、伊藤寛隆、エマニュエル・ヌヴェ、ミシェル・アリニョン、フローラン・エオー、アラン・ダミアンの各氏に師事。



佐々木絵理 [ピアノ]

1986年生まれ、東京都出身。桐朋学園大学音楽学部作曲理論学科作曲専攻卒業。同大学研究科修了。作曲を安良岡章夫、金子仁美、ピアノを林達也の各氏に師事。音楽集団「音仙人」のメンバーであり、多数の東京公演の他、日韓共同プロジェクトにおいて韓国公演、慶熙音楽大学にてレクチャーコンサートを行う。その他、N響メンバーによる名曲コンサート、「ラフォル・ジュルネ・オ・ジャポン」、軽井沢八月祭「街と森の音楽会」、レインボウ21サントリーホールデビューコンサートなどに出演。作曲と演奏の両面で活動している。



中川俊郎 [ピアノ]

1958年東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部作曲科卒業。作曲を三善晃、ピアノを末光勝世、森安耀子各氏に師事。「Music Today'82」10周年記念国際作曲コンクール第1位。09年サントリー芸術財団主催で「作曲家の個展2009、中川俊郎」開催。これまでに村松賞、2回の中島健蔵音楽賞(演奏家・作曲家)、多くのCM音楽賞を受賞。日本現代音楽協会副会長、日本作曲家協議会常務理事、お茶の水女子大学非常勤講師。



中川賢一 [ピアノ]

桐朋学園大学音楽学部でピアノと指揮を学び、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。1997年ガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。ダンスや朗読など他分野とのコラボレーションも活発。ピアノ演奏とトークのアナリーゼを展開し好評を博す。指揮者として、東京室内歌劇場、東京フィル、広響、仙台フィル他と共演。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」メンバー。現在、お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。

弦楽四重奏団の編成にあたり ● 多井智紀

私は、色々な方面で、色々なことを期待している。
ヴァイオリン+ヴァイオリン演奏家=ヴァイオリン
ヴァイオリンがヴァイオリン演奏家のそれではなくなった、それはたちまちヴァイオリンではなくなる。
今言う所のヴァイオリンから離れたヴァイオリンを期待する。
所作よさらば。
ヴァイオリンにサクソの所作をあてがうことから、はじまるのか、はじまらないのか。
ヴァイオリン+哲学者=バイオリン
ヴァイオリンは難しいのか、難しくないのか。
ヴァイオリン+演奏家=violin
ヴァイオリン+演奏家=viola
チェロ+演奏家=cello
violin, violin, viola, cello 今日はこちらです。



多井智紀 [第1ヴァイオリン]

大阪出身。東京芸術大学にてチェロ専攻。世界初演作品は150曲超。ソリストとしてセントラル愛知響、東京フィルと共演。2010年CDレーベル/演奏会企画団体〈時の形レコード〉を開始。団体及び個人でこれまでに、フェルドマン弦楽四重奏曲No.2、アルド・クレメンティ個展、古今対位法、横島浩新作個展、木山光&星谷弦楽四重奏新作演奏会、自作ポルタティエフォルガン星谷作品をそれぞれ企画。ヴィオラダガンバ、自作電気楽器も演奏する。



石渡大介 [第2ヴァイオリン]

千葉県佐倉市出身。東京芸術大学邦楽科卒。9歳で大叔父の西村尚己に祭囃子の手ほどきを受け、国指定重要無形民俗文化財「江戸里神楽」若山流四世家元、若山胤雄=鳳聲流分家家元、鳳聲晴雄師に師事。2004年鳳聲晴久の名を許される。長唄の囃子および神楽や祭囃子の笛の演奏家として活躍中。また、ジャズセッションや、2012年からは新潟市の依頼で廃絶した「角兵衛獅子」囃子の復元に着手し地域の演奏家を育成。



大石将紀 [ヴィオラ]

東京芸術大学、同大学院修了後渡仏。パリ国立高等音楽院サクソフォン科、室内楽科、即興演奏科を全て最優秀の成績で卒業。クラシック、現代音楽演奏、作曲家、ダンサーとのコラボレーション、即興演奏など幅広く活動している。2014年所属する現代音楽グループ「東京現音計画」で第13回サントリー芸術財団佐治敬三賞受賞。現在東京芸術大学、洗足学園音楽大学、東邦音楽大学非常勤講師。



多久潤一郎 [チェロ]

フルート奏者。現代音楽アンサンブル「BOIS」「Ensemble contemporary a」のメンバーとして国内外の作曲家の新作初演を多数手がけ、ソリストとしてもこれまでに新日本フィルハーモニー交響楽団はじめ数々のオーケストラと協奏曲を共演。また自身がリーダーを務める次世代型フルートトリオ「マグナムトリオ」は国内ツアーは元よりイギリスやカナダ、アメリカ、韓国など様々な国の音楽祭から招待されている。東京芸術大学卒業。